

# 恵仁会通信 (戮力協心) vol.50

発行所：医療法人社団 恵仁会 あい歯科クリニック

〒053-0833

TEL 0144-71-4141 FAX 0144-71-4171

発効日 2013年 4月 1日

## 歯の移植 (親知らずの活用)

親知らずに悩まされることは、比較的多くの方が経験されることではないかと思えます。

完全に骨内に埋伏していたり、部分的に埋伏していたり、また水平に埋伏していたり斜めになっていたりとそのありようは多彩です。

炎症を起こす原因になることも多く、そのため治療として抜歯が選択されることがほとんどです。

しかし、他の大臼歯を喪失した場合、この厄介者の親知らずを活用できる場合があります。

表題の通り、親知らずを喪失した部位へ移植するというものです。

移植可能な条件は限られており、歯牙欠損部へのインプラント治療ほど良好な予後は期待できない点もありますが、保険の範囲内での処置が可能であるという点が大きなメリットです。

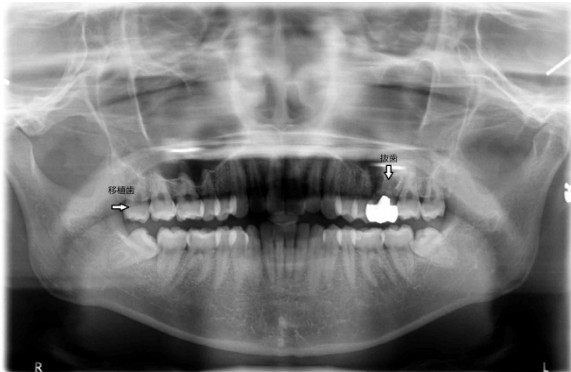
具体的な処置の内容としては、①保存不可能の対象歯の抜去、②智歯 (親知らず) の抜去、③智歯の歯髄処置 (神経を除去すること)、④移植床の形成、⑤抜歯窩への移植歯の挿入・固定という順になります。

手間のかかる操作なので 30-40 分の時間が必要です。

さらに固定期間は 3 か月で、移植 3 か月後問題なければ仮歯を作ります。

さらに 3 か月経過観察をして異常なければ最終補綴を行う (冠を入れる) という流れになります。

下の写真は左上顎第 1 大臼歯を抜去し右上顎智歯を移植した症例です。



移植直後 X-P

移植後 3 か月 X-P  
支台築造時

移植後 3 か月  
支台築造時

仮歯 (TEK) 仮着時

移植後 9 か月現在では、最終補綴を終えて経過良好です。